

津久井中央ロータリークラブ



事務所・例会場

相模原市緑区中野 1029 津久井商工会館 2F

TEL 042-780-0201 FAX 042-850-4830

例会日 毎週木曜日 時間 12:30~13:30

会長 前沢弘之 幹事 井上 旭



第 1152 回 平成 30 年 7 月 26 日(木曜日)《3》

司会 小山里枝 SAA 会長 前沢弘之会長 斉唱 奉仕の理想

会長挨拶 前沢弘之会長

今週の日曜日(22日)、「津久井中央ロータリークラブ杯」少年野球大会の表彰式、閉会式に出席してまいりました。参加された、井上幹事、沼崎社会奉仕委員長、高橋職業奉仕委員長、八木親睦委員長、暑い中、大変ご苦労様でした。

このところ、本当にどうしたものかと思うくらい暑いのですが、運営に当たった皆様のご努力のおかげで、子どもたちは無事に大会を終えてくれました。特に高橋会員(緑区少年野球連盟理事長)は、さぞや気を使われたことと思います。大変ご苦労様でした。

さて、年度初めの例会でも、この少年野球のことに触れて、「情熱」という話をしました。もうお忘れだと思いますので、繰り返しますと、開会式で私が「大事なことは、『もっとうまくなりたい。もっと強くなりたい。』という気持ち、一言でいえば『情熱』です。私たち津久井中央ロータリークラブは、そんな君たちの情熱を大事にしたい、応援したい、この大会の支援を続けています。」と、スポンサーの挨拶をしたのでした。

この「情熱」について、エリック・ホフマーがこんなことを言っています。

【エリック・ホフマー (1902-83)】

アメリカの「沖仲士の哲学者」と呼ばれる人。7歳で失明、15歳で突然視力を回復。18歳で天涯孤独。28歳で自殺未遂。季節労働者として10年間カリフォルニアを転々した後、港湾労働者をしてながら著作活動、大学講師。

『情熱と呼ばれる情念の大半には、自己逃避がひそんでいる。何かを情熱的に追及する人は、全て逃亡者に似た特徴を持っている。

情熱は、その根底を探ると、たいてい、自己の内面にひそむ、汚れた、びっこの、不完全な、確かならざる自分というイメージに突き当たる。だから、情熱的な態度というものは、外からの刺激に対する反応であるよりも、むしろ内面的不満の発散なのである。』(「情熱的な精神状態」1955)

非常に厳しい考えです。情熱の大半は、なさない自分から逃避して、自分を磨こうとしないで、外に向かって不満を発散するものに過ぎないという。

ホフマーほど情熱的に生きた人はいないのですが、彼は、自己逃避とか自己欺瞞、つまり自分の内面を冷徹に見つめずに誤魔化すこと、自分が存在する世界をしっかりと認識しようとしないうことに対して、非常に手厳しいのです。

確かに、政治にしろ、経済にしろ、何か見当違いのことに情熱を注ぐ人がいるから、何だかおかしなことになる(ホフマーは、不適応者(ミスフィット)「勘違い野郎」みたいな感じでしょうか)の、間違った情熱、みたいな言い方をします)。だから、この世界から情熱というものをなくしたら、この世の「悪い」ことはすっかりなくなるのかもしれませんが、しかし、もしも全ての人から情熱を奪ったら、たぶん、悪いものと一緒に良いものもなくなってしまう気がします。

要するに、「情熱」は、何でもかんでもよいも

【出席報告者 八木 勉委員】

現在会員数	出席対象数	本会出席数	本会欠席数	本会出席率	前回修正出席率	前々回修正出席率
15	14	13	1	92.86%	71.43%	93.33%
本日欠席者	山崎会員					

のというわけではなくて、諸刃の剣…というか、肝心なのは、どういう人のどういう情念であるかだ、ということです。

ホッファーはまた、「希望」という言葉についても、ハッとするようなことを言っています。私たちは、「希望」って、疑問の余地なく絶対的に良いものだと、ずっと教えられてきたように思いますが、ホッファーはこう言っています。

- 「希望ではなく勇氣」 -

『自己欺瞞なくして希望はないが、勇氣は理性的で、あるがままにものを見る。希望は損なわれやすいが、勇氣の寿命は長い。希望に胸を膨らませて困難なことに取り掛かるのはたやすいが、それをやり遂げるには勇氣がいる。闘いに勝ち、大陸を耕し、国を建設するには、勇氣が必要だ。絶望的な状況を勇氣によって克服するとき、人間は最高の存在になるのである。』
（「エリック・ホッファー自伝」）

これは、よく分かります。

例えば、私は、長く PTA に携わってきましたが、小学校でも、中学校でも、「夢」とか「希望」とか、「望み続ければ夢は必ずかなう」なんていう言葉が、お定まりのようによく使われます。でも、これは嘘っぱちです。

私自身は、「夢」と「教育」という言葉は、PTA 活動の中では禁句にしてきました。たぶん「夢」なんて言葉は一度も使ったことがありません。なぜならば、この中に、夢がかなったと言える人がいるのでしょうか。私を含め、一人もいないのではないのでしょうか。圧倒的多数は、敗れ去る。私は、勝ち残るごく少数の子供ではなくて、圧倒的多数の子供たちのことを考えていたかったのです。夢を語るのはたやすい。希望を語るのはたやすい。しかし、それは、圧倒的多数の子供のためにならない。そう考えていたからです。勿論「夢なんか持つな」ということではありません。「夢は誰でも持つ。しかし、夢はそっと胸にしまっておくもの。そして本当に大事な人にだけ、そっと打ち明けたりするもの。だから、ボクの夢・ワタシの夢なんて、人前で発表させたりなんか、すべきでない。」と、ひねくれたことを言った覚えがあります。

子供（若者）にとって、チャレンジは、「状況（あるいは環境）」が可能にするものです。その「状況（あるいは環境）」を、チャレンジ可能なものに整えるのは、私たち大人の務めです。状況（あるいは環境）を放っておいて、夢だ希望だチャレンジだと言うのは、無謀を後押しするようなものです。

今年度の事業で、私が小中学生向けにやりたいと申し上げている事業も、「夢を叶えるにはどう

したらよいか」というような話ではありません。語りたいのは、自分と世界を冷徹に見つめるための方法論です。そもそも職業とは何なのか、働くとはどういうことなのか。それを考えることで、自分を見つめ、他者を見つめ、社会を認識するための、ひっくるめて、生きていくための方法論、あるいは（私たちの）経験論が示せればと、かなり途方もないことを考えているわけです。…まあ、だから大変です。

「希望ではなく勇氣」という言葉から、もう一つ。我々のクラブの「会員増強」。

これは希望だけでは実現しませんね。状況を冷静に見つめて、方法を考えて、取り掛かる勇氣。…これしかないですよ。

「希望ではなく勇氣」、かみしめてよい言葉だと思います。

以上、今日はだいぶ難しい話になってしまいました。

さて、お待ちかね。「例会に来なけりゃ聞けない面白い話」シリーズ第1弾！

『私の忘れえぬ人々 その1 - 私が命の恩人によってしまった話 - 』の後編です。

… 省略 …

どうでしたか？

人生は、筋書きのないドラマです。つくづくそう思います。

「この世は舞台。すべての男と女はそこで演じる役者」とは、シェークスピアの戯曲（お気に召すまま）のセリフですが、どういうわけか、何に突き動かされてか、私たちは筋書きのないドラマを、しばしば実に滑稽な喜劇を、演じ続けています。

もしも、人生が、ある目的ないし目標を定めて、そこに到達する過程なのであれば、目的地を定めて、そこへ到達する過程を人生と呼ぶのであれば、この時代ですから、「人生ナビゲーションシステム」みたいなものが開発されて、最短ルートだとか、障害があれば迂回ルートなんかを案内してくれるかもしれません。しかし、たぶん人生はそういうものではない（もっとも、我々の全てが、行きつく先は決まっているのだから、最短ルートなんか設定すると、その高いところから飛び降りなさい、なんて、怖いSFみたいなことになりかねない…）。

人生は、筋書きのないドラマです。そういえば今年度、私はクラブ会長という大役を拝命しております。もしかして、とんでもない喜劇の主演なんか、演じてしまうのかもしれませんが。（悲劇にならないことを祈るばかりです…）

前年度会長前役員章贈呈



前年度皆出席者表彰

小川 洋一 会員 (設立以来)
佐藤祐一郎 会員
小山 里枝 会員 (入会以来)
森田 正紀 会員
前沢 弘之 会員



幹事報告 井上 旭幹事

ロータリー関係受領書類
ガバナー事務所
西日本豪雨義損金協力依頼
地区米山奨学セミナー&カウンセラー研修
会開催案内
地区大会：ゴルフコンペ開催案内

米山記念奨学会
ハイライトよねやま 220号

相模原西 RC 相模原中 RC 相模原 RC
相模原橋本 RC
例会変更通知

相模原中 RC 相模原柴胡 RC
活動計画書

その他の受領書類
津久井商工会
第5回やまびこオープン津久井商工会親睦
ゴルフコンペ開催案内

各委員会新年度方針説明

高橋幸一会員増強委員長

本年度は1名の入会が確定しておりますので、何とかもう1名の増強できるよう頑張っていきたいと思っております。ご協力よろしくお願ひ致します。



吉野賢治広報委員長

急遽広報委員長を仰せつかりました。広報については色々なイベントにおいて周知という形ですが、皆さん一人一人が広報という意識を持って頂ければ有難く思います。



八木 勉親睦委員長

ロータリークラブの基本理念は職業奉仕や社会奉仕等の「奉仕の理念」の上に成り立っています。今年度は懇親会や年次総会等でメンバー全員が明るく楽しく親睦を深め、各委員会の奉仕事業を盛り上げるようにしたいと思います。



井上 旭 R 財団委員長

RC財団に寄付する事により3年後に地区補助金として必ず戻るので寄付をして補助金活用をしよう。寄付1人\$200以上、ポリオ\$40

- ① 来年に向け各委員会で企画があれば一緒に検討し実行する
- ② 橋本RCクラブより緑区3クラブ合同の事業計画の話が来ているので、クラブ全体や関係委員会にて立案やすり合わせをして内容により補助金を利用する



小山里枝米山奨学委員長

私も急遽米山奨学委員長を仰せつかりましたが、米山奨学会に対する意識を深めて頂き、寄付もスムーズに行われるよう努力したいと思います。

また、米山月間の10月に米山学友か奨学生による卓話依頼を申請しています。10月18日か25日のどちらかになる予定です。



スマイル委員会 田畑和久委員長

『スマイル報告 八木 勉委員』



津久井中央 RC

前沢弘之会員

少年野球ロータリーカップ、無事終了して本当によかったですね。高橋さん大変ご苦労さまでした。

井上 旭会員

今日は猛暑が一休み、でも週末の台風が心配です。

小山里枝会員

きょうは7月26日です。もう2年…まだ2年ですか…。 やまゆり園の前を通ってきました。生花の山、礼服の方が多勢見えました。

さて、先日の少年野球大会、暑い中お疲れ様でした。参加できず、すみませんでした。残念でした。ありがとうございました。高橋さん、いろいろお世話様でした！

佐藤祐一郎会員

昨年度、当クラブは財団寄付、ポリオ、米山寄付ともに目標達成できました。

今日お休みの方々は藤野チャリティで、うちでゴルフやっていますので、皆様に変わってスマイルいたします。

高橋幸一会員

前沢会長の続きのお話が聞けて、チョッピリ幸せでした。

少年野球、大変お世話になりました。子ども達の笑顔がたくさん見れて良かったです。最後に…娘も宜しくお願いします。

吉野賢治会員

暑さも今日はやっと一息！ 久しぶりに例会出席です。体調をくずさない様、気をつけましょう。

小川洋一会員

7月28～29日は中野の夏祭りですが、台風12号が直撃しそうです。心配です。

森田正紀会員

本年度、初例会です。前沢さん、井上さん、1年間、ガンバッテください。宜しくお願いします。

水野 茂会員

今日は欠席者が多くさみしい例会ですが、元気を出して頑張りましょう。

八木 勉会員

盆休みが近づき、ゴジャゴジャとしております。暑い日がつづいておりますが、体に気をつけてがんばってください。